

ドイツのスポーツが 地域社会のエンジンになっている理由 ～部活はないが余暇がある～

高松 平藏 ドイツ在住ジャーナリスト

2022年7月27日 自治体国際化協会 オンラインセミナー



自己紹介と今日のテーマへの視点：

高松 平藏（ドイツ在住ジャーナリスト）



著書：

「ドイツの地方都市は
なぜクリエイティブなのか」
（学芸出版）

「ドイツの学校にはなぜ『部活』が
ないのか」（晃洋書房）

など

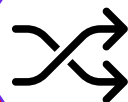
はじめに



地方都市の発展がテーマ。執筆・講演活動



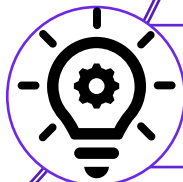
ドイツ地方都市：取材・調査・参与観察



都市の捉え方やイメージ：日本とはかなり異なる



背景にはドイツ独自の制度や歴史などがある



以上の洞察を今回のテーマにも加えて話します



結論

ドイツのスポーツが地域社会のエンジンになっている理由はなにか？

ドイツという国が、「社会」をベース
に構想されているから。

1. 地域社会にどんな「スポーツ」 があるのか？



1. 地域社会にどんな「スポーツ」があるのか？



営利
セクター

- 企業によるフィットネスクラブなど

スポーツ
クラブ

- 非営利組織
- やたらに多い（ドイツ全国約9万）

地域にある
「スポーツ」

学校
スポーツ

- 体育の授業
- 自主的なスポーツ活動

プログラム

- 行政のスポーツ局、スポーツクラブなどが主催
- マラソン大会などのスポーツイベント
- 健康・運動のためのプログラム
- 試合

都市に埋め
込まれた
環境

- 森・湖・緑地帯などの余暇空間
- 運動のためのスポーツ施設（行政、学校、スポーツクラブなどによる）



2. 社会的組織としての スポーツクラブ





2. 社会的組織としてのスポーツクラブ

スポーツクラブの社会的組織としての自覚

都市社会に欠かせないサービス供給者

- 競技、レジャー、フィットネス、健康スポーツを提供し、市の社会の**生活文化の一部**として不可欠な組織である。

開かれた連帯的コミュニティ

- 人種主義や差別に反対し、年齢、宗教、経歴、国籍に関係なく、**誰にでも開かれている**。そしてわれわれは**寛容、社会的、連帯**を重視したコミュニティである。

この文言を解説できる方は、私の話はもう必要ありません。



2. 社会的組織としてのスポーツクラブ

スポーツクラブで人々は何をしているのか？

スポーツクラブ

- 非営利組織（フェライン）
- ドイツ全国に9万ある。メンバーは**老若男女**で、統計的には国民の**約3割**を数える。（リビングスタンダード）
- スポーツをともに行う仲間という、**平等な人間関係**に基づいた**コミュニティ**
- 一義的には同好会のようなものだが、**「社会的組織」**

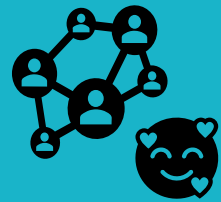
おこっていること		備 考	健康の種類
運 動	通常のトレーニング	年齢やレベル、目的に合わせた内容	肉体的な健康 
競 争	試合に出て頑張る	あくまでも余暇時間の趣味として	
気晴らし	お喋り、飲食、リラックス	仲間との楽しい時間	
学 習	スポーツ技術向上、 他者とのコミュニケーションを通じた幅広い学習	技術習得のみならず、仲間との一般的な情報・意見交換による学習。 ひいてはデモクラシーの対話トレーニング機会。クラブは「デモクラシーの学校」でもある。	精神的な健康 
関 与	ボランティア （指導、審判、クラブ運営など）	メンバーはクラブのスポーツサービスを享受するだけでなく、自由意思で職能・資格、時間といった資源を提供することもできる。	社会的な健康 

表.ドイツのスポーツクラブの機能

高松平蔵による整理。 参考：「ドイツのスポーツ都市」（学芸出版）、「ドイツの学校にはなぜ『部活』がないのか」（晃洋書房）



3. 余暇には社会創造力がある

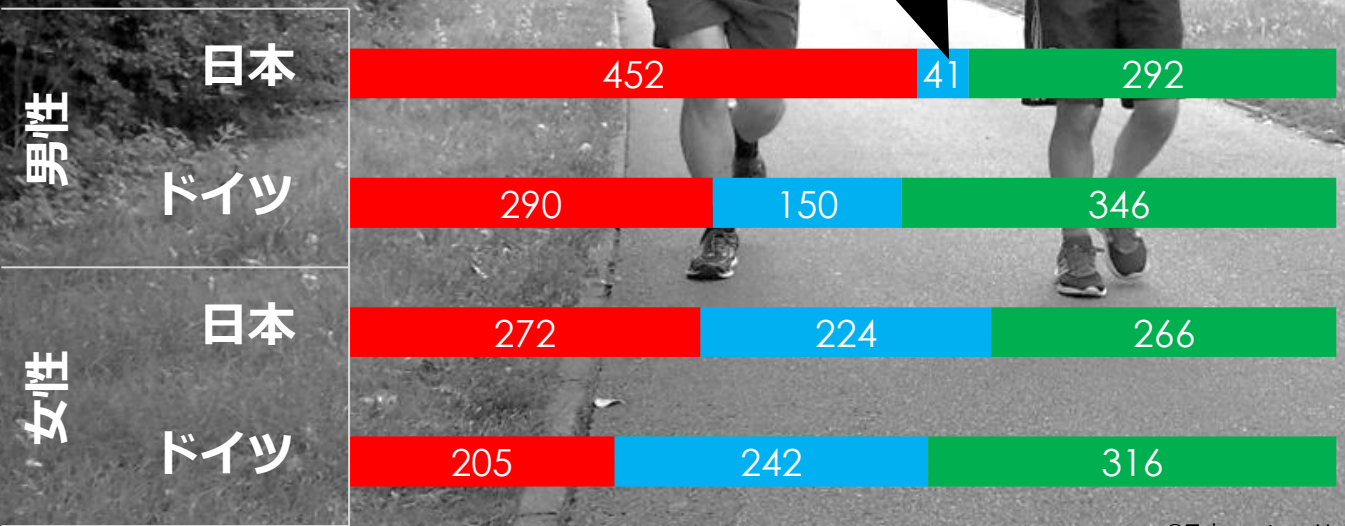




3.余暇には社会創造力がある

1日の「時間の使い方」の比較

(対象15-64歳 単位=分)





「余暇」とは何か？

- スポーツ、文化
 - ボランティア
 - 社交
 - 趣味、娯楽
- などを行う

1. 定義：働く必要がない時間、または特別な義務を負わない時間（Duden）

2. 「余った暇な時間」ではない

3. むしろ、自己決定・自己管理で作る時間

- 「自己決定をする私」という強いメンタリティが重視される
- 仕事/余暇は基本的に並列
- 長い休暇がとれる一因

個人がこういったことをすることで、全体的に次のようなことにつながりやすい。

1. 自由意志と平等に基づいた人間関係ができる
（学校、職場、地縁・血縁関係とは違う）
2. 多様性と結束
3. 公共善の推進
4. 生きたデモクラシー

デモクラシー国家の「社会」とはなにか？



社 会

- 平等な関係に基づく、人間の交際の総体
- 個人では解決できない諸問題の主体



デモクラシー

- 期間限定の統治者を決める
- 社会を更新していく制度
- 個人の自己決定による参加で成り立つ



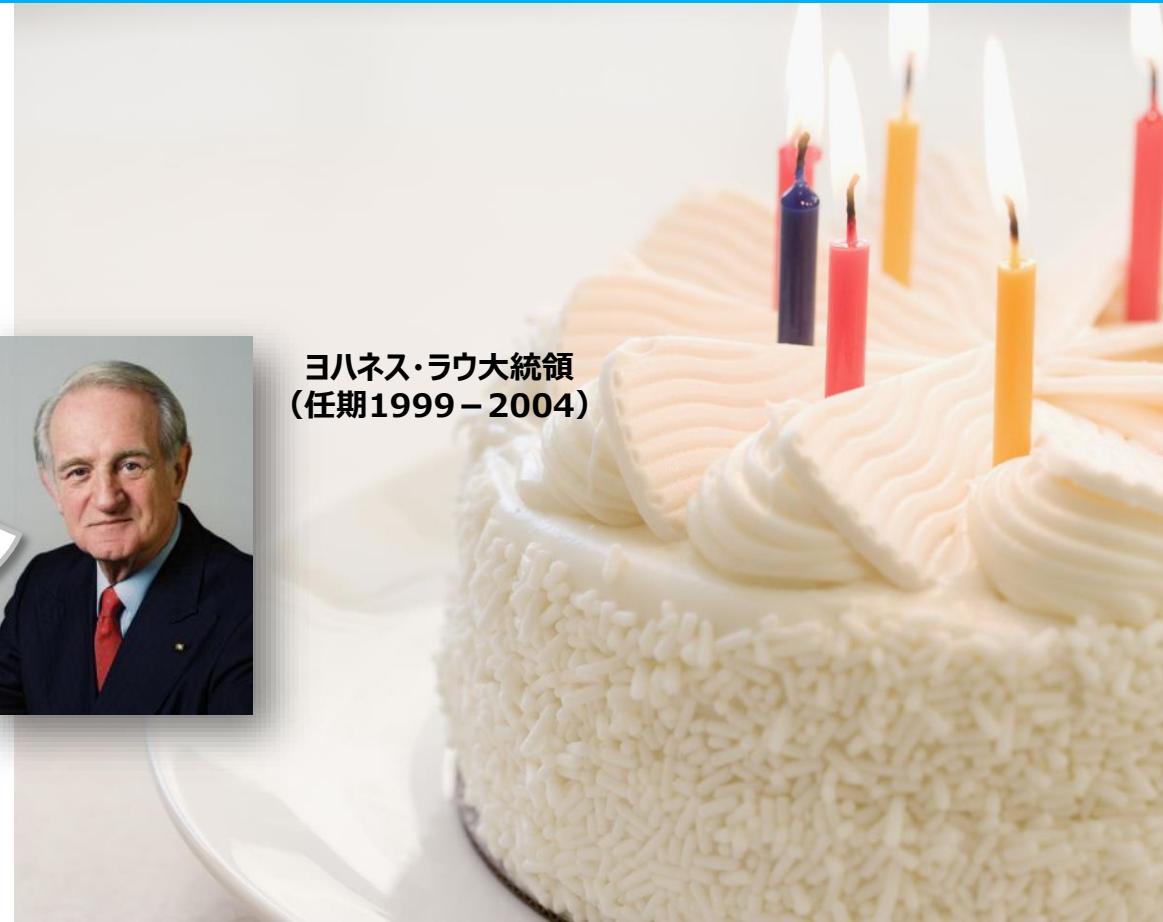
3.余暇には社会創造力がある

ドイツの傾向として、「社会」そのものを強くしなければならないという了解が広くある。

私たちがもし、音楽、スポーツ、芸術を、ケーキの生地をふくらませる酵母ではなく、あくまでもケーキの上を飾る生クリームと考えるならば、社会とは何かということについて、誤った理解をしていることになる。(2003年5月13日、ベルリン)



ヨハネス・ラウ大統領
(任期1999－2004)



デモクラシー国家の「社会」とはなにか？



多様な個人がいる

地域社会

- 平等な関係に基づく、人間の交際の総体
- 個人では解決できない諸問題の主体

地域こそ

生きた デモクラシー の場所



スポーツ

- 期間限定の統治者を決める
- 社会を更新していく制度
- 個人の自己決定による参加で成り立つ

個人・地域・社会・デモクラシー・
スポーツが有機的につながっている

地域がその現場



デモクラシー国家の「社会」とはなにか？



社 会

- 平等な関係に基づく、人間の交際の総体
- 個人では解決できない諸問題の主体

個人

スポーツ

- メンバーシップの家族割引の根拠は？
- 人種差別、難民への働きかけ
- 外国系市民の女性問題
- スポーツ人口増加のための政策
- 都市計画としての施設づくり

などの具体例を「ドイツのスポーツ都市」（学芸出版）、
「ドイツの学校にはなぜ『部活』がないのか」（晃洋書
房）に書いています。

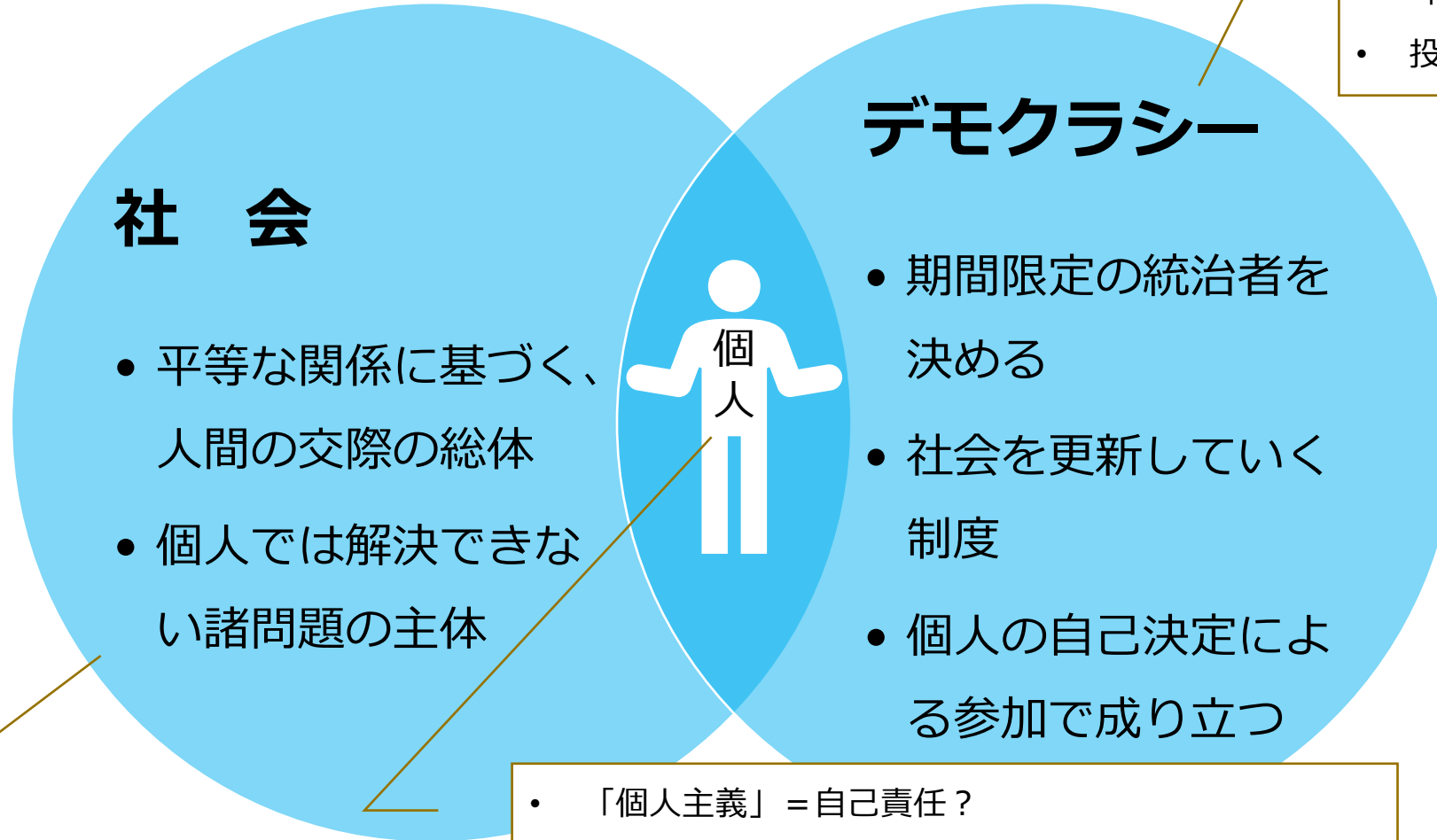
- 個人の自己決定による参加で成り立つ



4. 古くて新しい、 「社会」と「個人」 という日本の論点



日本における「個人」「社会」「デモクラシー」



- 「デモクラシー」は輸入品
- 投票率にのみ着目しがち

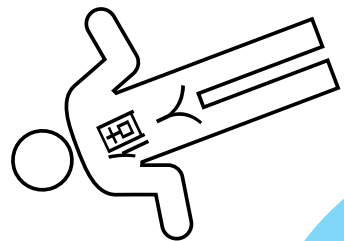
- 「社会」は翻訳語
- 社会／世間を使い分け

- 「個人主義」=自己責任？
- 勝ち組になるのが最大の目標？
- 他の「個人」との関係は？
- 社会やデモクラシーに関心を持つ人は「意識高い系」

4.古くて新しい、「社会」と「個人」という日本の論点

日本における「個人」「社会」「デモクラシー」

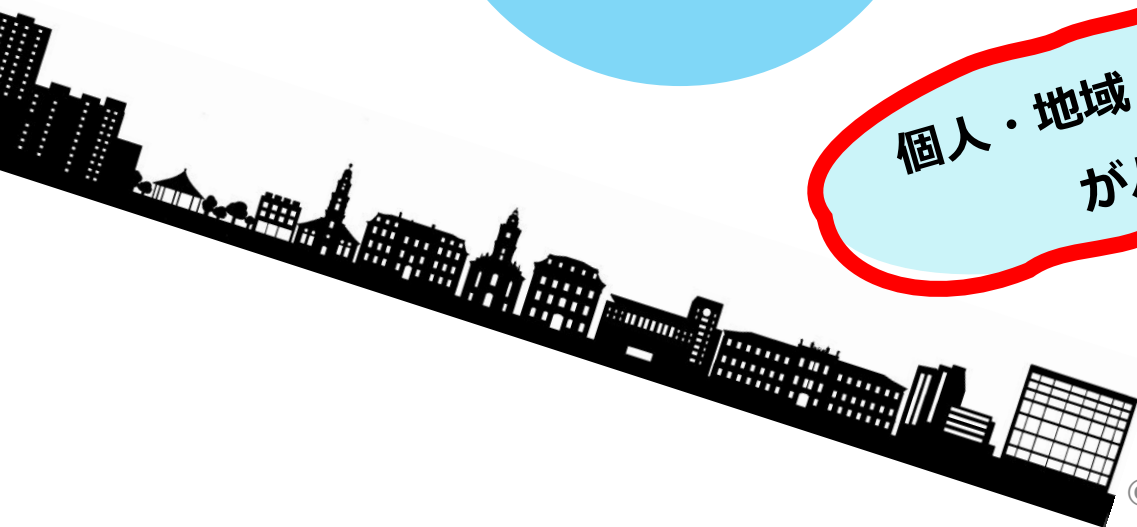
スポーツと地域の議論
部活
先生の働き方
副業
勝利至上主義



社 会

デモクラシー

個人・地域・社会・デモクラシー・スポーツ
がバラバラで浮遊している。



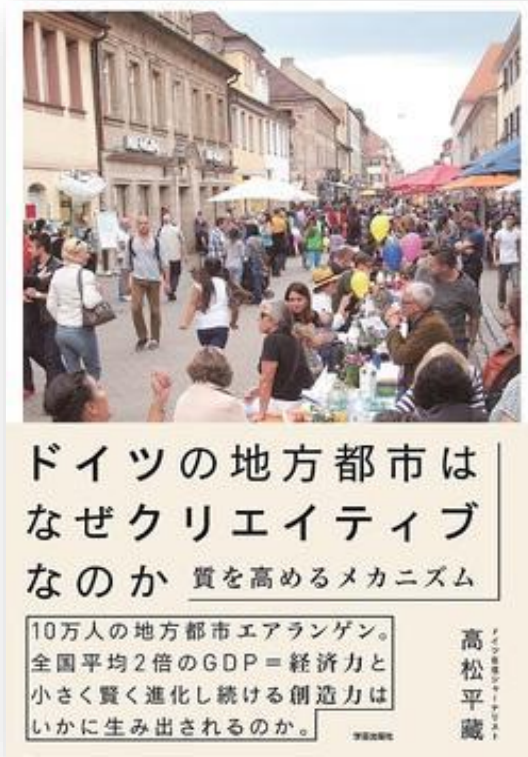
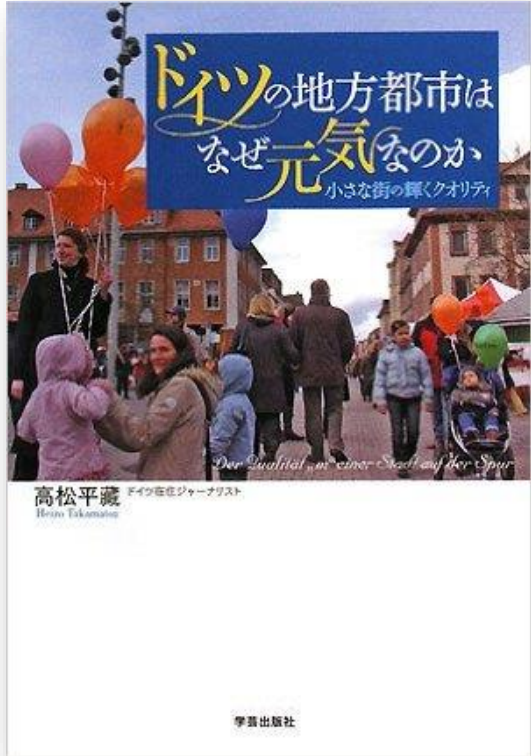


4.古くて新しい、「社会」と「個人」という日本の論点

日本でどういう問をたてるべきか？

問の立て方で議論の質を左右します。このつづきはあなたがぜひ！

1. スポーツの定義をどう広げてるか？
2. 相互に最低限の敬意を持ちながら、活発な意見交換をどう促進するか？
3. 個人の意見形成能力をどのように向上させるか？
4. 仕事・家庭以外に関われる物理的時間をどう獲得するか？



参考にどうぞ



コンタクトとインフォメーション

クリックすると、それぞれのページ等にジャンプします。



[個人ページ](#)

[インターローカルジャーナルのページ](#)

